

【引受保険会社】

Global Partner/Net VA

グローバルパートナー/Net VA



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

* Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

2016年度 (2016年4月～2017年3月) 特別勘定の現況 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン(以下、「ABI」)* /アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするABIの日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*ABIには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」を合わせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

変額個人年金保険

特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年4月～2017年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+12.28%の1,512.60ポイント(前年度末1,347.20ポイント)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票の結果を受けて急落する局面があり、一時1,200ポイントを下回りました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて急落する局面がありましたが、米新政権の政策への期待などから市場は上昇し、1,500ポイントを超えました。1月に米新政権が発足すると、政策運営への不透明感と期待とが錯綜し、その後はもみ合う展開となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.84%の20,663.22ドル(前年度末17,685.09ドル)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票の結果を受けて急落する局面があり、一時17,000ドル近辺まで下落しましたが、買戻しの動きと堅調な経済指標から上昇に転じました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待などから市場は大幅に上昇しました。その後、米新政権の政策運営への不透明感から軟調に推移する場面もありましたが、3月には21,169.11ドルを付け、期を通じては上昇して終わりました。欧州株式市場は上昇しました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数+23.55%、英FTSE100指数+18.59%、仏CAC40指数+16.82%となりました。6月末の英国の国民投票の結果を受けて急落する局面がありましたが、年度の後半には、米国株式市場に連れて上昇しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.065%(前年度末 Δ 0.050%)となりました。年度の前半は、4月から6月にかけて日銀の追加金融緩和期待への高まりなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。6月末の英国の国民投票の結果を受けて金利は更に低下し、 Δ 0.300%となる場面がありました。その後、7月から8月にかけて、財務相が40年国債増発の検討を表明したことなどから金利は上昇に転じ、9月には日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を発表したことを受けて、0%近辺で推移しました。年度の後半は、米新政権の政策への期待などから米国金利が上昇したことによって国内金利も上昇しました。

【外国債券市場】

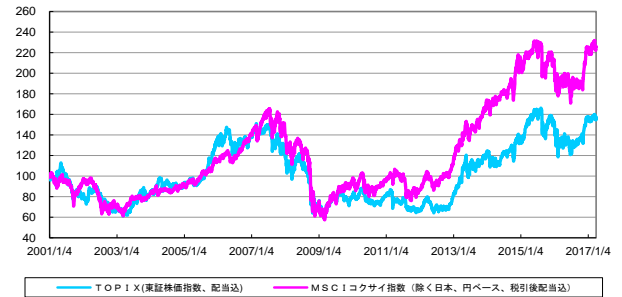
米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.387%(前期末1.769%)となりました。年度の前半は、6月末に、英国の国民投票の結果を受けて金利は急低下する局面があり、一時1.3%近辺まで低下しました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測、さらには、FOMC(連邦公開市場委員会)で1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に金利は上昇しました。その後は、金利上昇への期待と、新政権の政策運営への不透明感から揉み合いました。年度中に、FRB(米連邦準備制度理事会)による、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが2回行われ、計0.500%引き上げの年0.750~1.000%となりました。欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.328%(前年度末0.153%)となりました。年度の前半は、EUが域内の景気・物価見通しを下方修正したこと、英国の国民投票の結果などから金利は低下し、 Δ 0.2%を下回りました。年度の後半は、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測などを背景に金利は上昇し、0.5%超となることもありました。ECB(欧州中央銀行)の政策金利は据え置かれ、年0.000%となっています。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には112.19円(前年度末112.68円)となりました。年度の前半は、米国の早期利上げ観測の後退、英国の国民投票の結果を受けて円高で推移し、100円近辺の水準となることがありました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権への期待からドルが買われました。その後も、12月には堅調な米景気指標や、FOMCで1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に円安が進行し、118.18円を付きました。年度末に向けて米国の金利上昇への期待と米新政権の政策運営への不透明感から揉み合い、円高米ドル安で推移しました。ユーロ/円相場は、円高ユーロ安となり、期末には119.79円(前期末127.70円)となりました。期の前半は、英国の国民投票の結果を受けて円高に推移し、一時111.22円となりました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、円、ユーロとも対ドルで下落しましたが、円の下落幅がユーロよりも大きかったことなどから、対ユーロで円安基調となりました。期末に向けて欧州における反EUの政治リスクへの懸念と欧州の金利上昇との間で揉み合いましたが、期を通じては円高ユーロ安となりました。

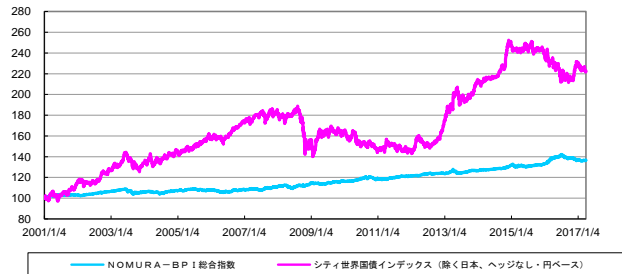
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

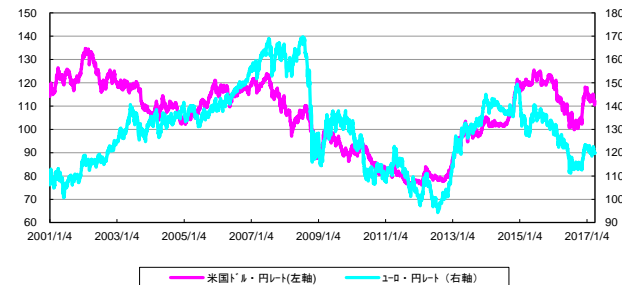


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
			投資信託名	委託会社
ライフ・ソリューション30	株式 30%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 70%			
ライフ・ソリューション50	株式 50%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 50%			
ライフ・ソリューション70	株式 70%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 30%			
日本株式	日本株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニング ^{※1} によって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界株式 ^{※1}	世界株式 100%	マザー・ファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。実質的な外貨建組入資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ IM・グローバル(日本含む)株式ファンド(為替ヘッジつき) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界債券	世界債券 100%	主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーンスタイン グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ(クラスS1受益証券)	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
マネー・プール ^{※2}	短期金融資産 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※1 当特別勘定で投資していた「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり)」(委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社)は、2015年10月29日に償還され、2015年10月より新たに「アクサ IM・グローバル(日本含む)株式ファンド(為替ヘッジつき)〈適格機関投資家私募〉」に投資しております。

※2 「マネー・プール」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「マネー・プール」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

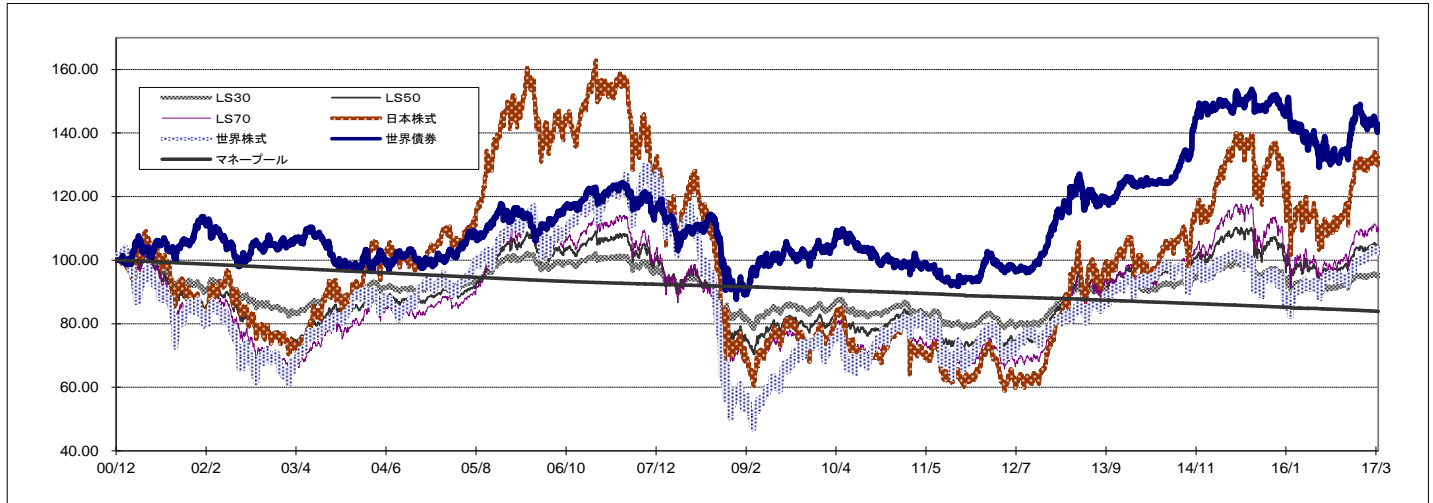
特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



■特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高	
	金額(千円)	
ライフ・ソリューション30	1,859,568	
ライフ・ソリューション50	4,977,873	
ライフ・ソリューション70	3,351,965	
日本株式	3,723,165	
世界株式	2,182,884	
世界債券	2,150,565	
マネープール	288,769	

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

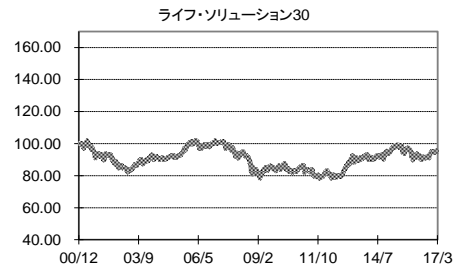
特別勘定 ライフ・ソリューション30 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+2.24%となりました。
2016年度について、米国株式市場は堅調な経済指標や企業業績に加え、トランプ新政権の経済政策や米国の景気拡大に対する期待が高まったことなどから、上昇基調となりました。欧州株式市場はユーロ域内の景気底入れを示唆する経済指標の発表に加え、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和の実施などを受けて上昇基調となりました。日本株式市場は円安の進行などを背景に日本企業の業績改善期待が広がったことや、日銀の金融緩和強化のための新しい枠組みが導入されたことなどから、上昇基調で推移しました。日本債券市場は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を受け、長期国債利回りは上昇しましたが、短期はマイナス圏で推移しました。利用する投資信託は、資産配分効果と銘柄選択効果の双方がプラス寄与となり、中でも日本株式のオーバーウェイトと銘柄選択が牽引役となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション30			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年3月末	94.83	過去1カ月	▲ 0.21
2016年12月末	94.73	過去3カ月	0.11
2016年9月末	91.55	過去6カ月	3.58
2016年6月末	90.53	過去1年	2.24
2016年3月末	92.75	過去3年	3.81
2015年12月末	96.42	設定来	▲ 5.17

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション30	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	90,056	4.8
その他有価証券	1,769,512	95.2
合計	1,859,568	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	17,975
有価証券売却益	—
有価証券評価益	46,013
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	22
収支差計	63,965

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)
に投資します。

■当投資信託の資産配分比率

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	LSF安定型
日本株式	24.00%	29.59%
米国株式	3.00%	2.18%
欧州株式	3.00%	2.30%
日本債券	30.00%	26.12%
短期金融資産等	40.00%	39.81%
合計	100.00%	100.00%

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

■当投資信託の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定型	▲0.10%	0.42%	4.40%	3.62%	7.91%	14.77%
BM	▲0.26%	0.27%	3.80%	3.90%	8.80%	22.03%
差	0.16%	0.15%	0.60%	▲0.28%	▲0.89%	▲7.26%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
東証株価指数(TOPIX) ¹⁾	24.00%
S&P500種株価指数 ²⁾ (為替ヘッジコスト相対分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%
MSCI欧州株価指数 ³⁾ (為替ヘッジコスト相対分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%
(※)ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス ⁴⁾	30.00%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート ⁵⁾ により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	40.00%

(※) 当ベンチマークは、2016年8月からバークレイズ日本総合(3-7年)インデックスより変更となりました。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフ・ソリューション50 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+5.48%となりました。
 2016年度について、米国株式市場は堅調な経済指標や企業業績に加え、トランプ新政権の経済政策や米国の景気拡大に対する期待が高まったことなどから、上昇基調となりました。欧州株式市場はユーロ域内の景気底入れを示唆する経済指標の発表に加え、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和の実施などを受けて上昇基調となりました。日本株式市場は円安の進行などを背景に日本企業の業績改善期待が広がったことや、日銀の金融緩和強化のための新しい枠組みが導入されたことなどから、上昇基調で推移しました。日本債券市場は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を受け、長期国債利回りは上昇しましたが、短期はマイナス圏で推移しました。利用する投資信託は、資産配分効果と銘柄選択効果の双方がプラス寄与となり、中でも日本株式のオーバーウェイトと銘柄選択が牽引役となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション50			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年3月末	103.72	過去1か月	▲ 0.19
2016年12月末	103.12	過去3か月	0.57
2016年9月末	96.73	過去6か月	7.22
2016年6月末	94.35	過去1年	5.48
2016年3月末	98.33	過去3年	10.21
2015年12月末	105.19	設定来	3.72

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション50	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	203,007	4.1
その他有価証券	4,774,865	95.9
合計	4,977,873	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は四捨五入としました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	80,338
有価証券売却益	—
有価証券評価益	247,396
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	327,734

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として

- アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
- アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
- アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
- アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
- アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)

に投資します。

■当投資信託の資産配分比率

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	LSF安定成長型
日本株式	40.00%	51.67%
米国株式	5.00%	3.76%
欧州株式	5.00%	3.96%
日本債券	25.00%	21.72%
短期金融資産等	25.00%	18.90%
合計	100.00%	100.00%

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定成長型	▲0.09%	0.92%	8.25%	7.07%	14.86%	25.40%
BM	▲0.43%	0.42%	6.53%	6.57%	13.95%	27.16%
差	0.34%	0.50%	1.72%	0.50%	0.90%	▲1.76%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
東証株価指数(TOPIX) ¹⁾	40.00%
S&P500種株価指数 ²⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	5.00%
MSCI欧州株価指数 ³⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	5.00%
(※)フルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス ⁴⁾	25.00%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート ⁵⁾ により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	25.00%

(※) 当ベンチマークは、2016年8月からバークレイズ日本総合(3-7年)インデックスより変更となりました。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

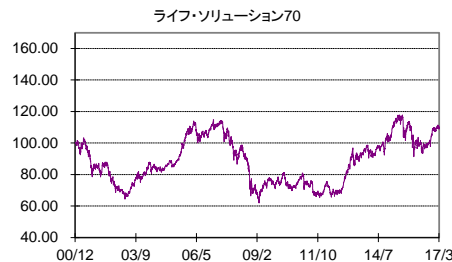
特別勘定 ライフ・ソリューション70 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+8.39%となりました。
 2016年度について、米国株式市場は堅調な経済指標や企業業績に加え、トランプ新政権の経済政策や米国の景気拡大に対する期待が高まったことなどから、上昇基調となりました。欧州株式市場はユーロ域内の景気底入れを示唆する経済指標の発表に加え、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和の実施などを受けて上昇基調となりました。日本株式市場は円安の進行などを背景に日本企業の業績改善期待が広がったことや、日銀の金融緩和強化のための新しい枠組みが導入されたことなどから、上昇基調で推移しました。日本債券市場は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を受け、長期国債利回りは上昇しましたが、短期はマイナス圏で推移しました。利用する投資信託は、資産配分効果と銘柄選択効果の双方がプラス寄与となり、中でも日本株式のオーバーウェイトと銘柄選択が牽引役となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション70			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年3月末	109.02	過去1ヵ月	▲ 0.15
2016年12月末	107.94	過去3ヵ月	1.00
2016年9月末	98.71	過去6ヵ月	10.45
2016年6月末	94.99	過去1年	8.39
2016年3月末	100.58	過去3年	15.82
2015年12月末	110.57	設定来	9.02

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション70	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	137,498	4.1
その他有価証券	3,214,467	95.9
合計	3,351,965	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は四捨五入としました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	55,289
有価証券売却益	—
有価証券評価益	257,118
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	10.45
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	312,408

アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
 アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)
 に投資します。

■当投資信託の資産配分比率

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	
	基本資産配分	LSF成長型
日本株式	55.00%	72.36%
米国株式	7.50%	5.96%
欧州株式	7.50%	6.27%
日本債券	17.50%	14.99%
短期金融資産等	12.50%	0.42%
合計	100.00%	100.00%

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF成長型	▲0.05%	1.35%	11.63%	10.14%	20.82%	30.27%
BM	▲0.57%	0.61%	9.26%	9.22%	18.76%	30.39%
差	0.52%	0.74%	2.37%	0.92%	2.06%	▲0.12%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
東証株価指数(TOPIX) ¹⁾	55.00%
S&P500種株価指数 ²⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	7.50%
MSCI欧州株価指数 ³⁾ (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	7.50%
(※)フルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス ⁴⁾	17.50%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート ⁵⁾ により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	12.50%

(※) 当ベンチマークは、2016年8月からバークレイズ日本総合(3-7年)インデックスより変更となりました。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

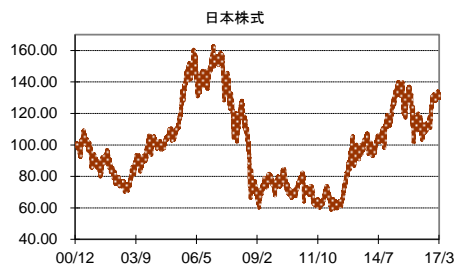
特別勘定 日本株式 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+12.43%となりました。
2016年度の日本株式市場は、前年度末比で上昇となりました。利用する投資信託については、ベンチマーク比でプラスとなりました。主なプラス要因は、当期の日本株式市場は企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、これらの銘柄を少なめに保有していたこと、業種別では下落した電力を少なめに保有していたことや上昇したITハードウェアを多めに保有していたことです。また、個別銘柄では上昇した東ソー、ローム、三菱ケミカルホールディングスを多めに保有していたこともプラスに寄与しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



日本株式			
	ユニットプライス	騰落率(%)	
2017年3月末	129.92	過去1ヵ月	▲ 0.25
2016年12月末	128.93	過去3ヵ月	0.77
2016年9月末	111.78	過去6ヵ月	16.23
2016年6月末	106.70	過去1年	12.43
2016年3月末	115.55	過去3年	32.29
2015年12月末	132.01	設定来	29.92

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	日本株式	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	147,463	4.0
その他有価証券	3,575,702	96.0
合計	3,723,165	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	188,514
有価証券売却益	—
有価証券評価益	284,185
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	472,699

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザーファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.15%	0.94%	17.52%	14.45%	38.82%	63.72%
BM	▲1.48%	▲0.40%	14.35%	12.28%	25.75%	17.32%
差	1.33%	1.34%	3.17%	2.17%	13.07%	46.40%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.03%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.48%
3 本田技研工業	輸送用機器	2.27%
4 KDDI	情報・通信業	2.13%
5 日本電信電話	情報・通信業	2.00%
6 アステラス製薬	医薬品	1.78%
7 日立製作所	電気機器	1.72%
8 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.66%
9 HOYA	精密機器	1.66%
10 NTTドコモ	情報・通信業	1.65%
合計		20.37%
組入銘柄数		166銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

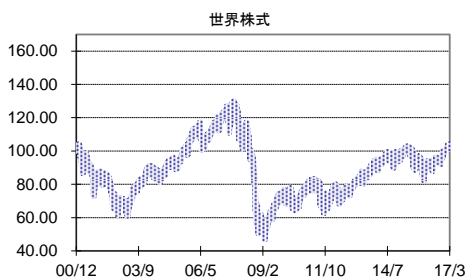
特別勘定 世界株式 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+12.40%となりました。当期の日本を含む世界株式市場は、良好な経済環境や原油価格の上昇などに支えられたことに加え、米大統領選後トランプ新政権の経済政策による成長期待から上昇しました。利用する投資信託については、ベンチマーク比でマイナスとなりました。当期の世界株式市場は純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、これらの銘柄を多めに保有していたことはプラスに寄りましたが、業種別では下落した小売を多めに保有していたこと、個別銘柄では医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスや電気通信サービスにおける銘柄選択がマイナスに寄りました。地域別では全体としてわずかながらプラス寄与度となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



世界株式			
	ユニットプライス	騰落率 (%)	
2017年3月末	103.47	過去1か月	0.86
2016年12月末	99.29	過去3か月	4.21
2016年9月末	94.68	過去6か月	9.28
2016年6月末	90.68	過去1年	12.40
2016年3月末	92.05	過去3年	10.40
2015年12月末	94.90	設定来	3.47

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	9,787
有価証券売却益	—
有価証券評価益	233,196
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	▲ 29,596
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	694
収支差計	271,885

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界株式	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	101,480	4.6
その他有価証券	2,081,403	95.4
合計	2,182,884	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

アクサ IM・グローバル(日本含む)株式ファンド(為替ヘッジつき) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名^(※1)】アクサ IM・グローバル(日本含む)株式ファンド(為替ヘッジつき)
 <適格機関投資家私募>

【委託会社^(※2)】アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券ならびにアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.91%
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.51%
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.42%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.09%
5	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.02%
6	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.94%
7	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	0.93%
8	PEPSICO INC.	アメリカ	食品・飲料・タバコ	0.92%
9	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.89%
10	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	0.82%
	合計			11.44%
	組入銘柄数			800銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.00%	4.71%	10.40%	14.45%	—	14.62%
BM	0.94%	5.29%	10.12%	16.71%	—	21.49%
差	0.07%	▲0.57%	0.28%	▲2.26%	—	▲6.87%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年9月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス[®](為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

※1.2「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり)」(委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社)は、2015年10月29日に償還されました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

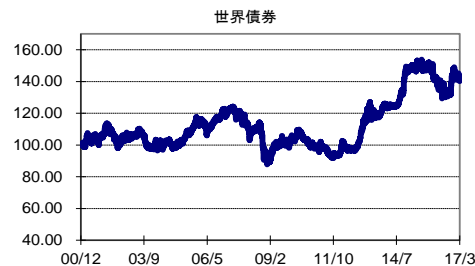
特別勘定 世界債券 [2017年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+0.09%となりました。当期の当投資信託では、イギリスを高めの中入れとし日本を低めの組入れとした国別配分が主なプラス要因となりました。また、米国のモーゲージ担保証券を低めの組入れとしたセクター配分やイギリス債券およびメキシコ債券への通貨配分もプラス要因となりました。一方、米国およびイギリスの投資適格社債における銘柄選択はマイナス要因となりました。世界の経済成長は、米国経済の拡大がけん引し、引き続き安定した成長を維持すると考えています。ユーロ圏経済は、イギリスのEU離脱の影響を見極める必要があるものの、個人消費など国内需要は底堅く推移しており、緩やかな景気回復が続くとみられています。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	世界債券	
	ユニットプライス	騰落率(%)
2017年3月末	142.78	過去1ヵ月 ▲0.19
2016年12月末	147.44	過去3ヵ月 ▲3.16
2016年9月末	131.92	過去6ヵ月 8.23
2016年6月末	133.54	過去1年 0.09
2016年3月末	142.64	過去3年 14.03
2015年12月末	148.39	設定来 42.78

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	60,647
有価証券売却益	—
有価証券評価益	▲23,199
有価証券償還益	—
為替差益	68
その他収益	—
有価証券売却損	3,998
有価証券評価損	6,108
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	3,404
収支差計	24,004

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界債券	
	金額(千円)	比率(%)
現金金・その他	95,670	4.4
その他有価証券	2,054,895	95.6
合計	2,150,565	100.0

※ 特別勘定で利用している外国投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ(クラスS1受益証券)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ(クラスS1受益証券)

【委託会社】 アライアンス・バースタイン・エル・ピー

【運用方針】

主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。原則として、投資信託の総資産の70%以上を米ドル建ての証券または米ドルをヘッジする証券に投資します。

※ 当投資信託は、米ドル建ルクセンブルグ籍外国投資信託です。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.35%	0.83%	▲1.17%	1.80%	9.48%	148.65%
BM	▲0.05%	0.44%	▲1.91%	1.09%	11.21%	180.89%
差	0.40%	0.38%	0.74%	0.71%	▲1.73%	▲32.24%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(1996年11月20日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、フルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合インデックス⁷⁾です。(※)

■当投資信託の詳細情報

○ 組入上位10債券種類

順位	銘柄	国名	格付		投資信託
			ムーディーズ	S&P	
1	アメリカ国債(8/15/21)	アメリカ	Aaa	AA+	9.71%
2	アメリカ国債(5/15/17-8/15/20)	アメリカ	Aaa	AA+	7.49%
3	アメリカ国債(8/15/17)	アメリカ	Aaa	AA+	5.90%
4	アメリカインフレ連動債(4/15/19-4/15/20)	アメリカ	Aaa	AA+	4.90%
5	イタリア国債(9/1/19)	イタリア	Baa2	BBB-	3.71%
6	アメリカ国債(5/15/18)	アメリカ	Aaa	AA+	2.89%
7	メキシコ国債(6/11/20)	メキシコ	A3	A	2.50%
8	スペイン国債(7/30/18)	スペイン	Baa2	BBB+	2.29%
9	日本国債(3/10/24)	日本	A1	A+	2.20%
10	イタリア国債(8/1/18-3/1/19)	イタリア	Baa2	BBB-	1.97%
合計					43.56%

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～11ページに記載されている「1～7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 マネープール [2017年3月 末日現在]

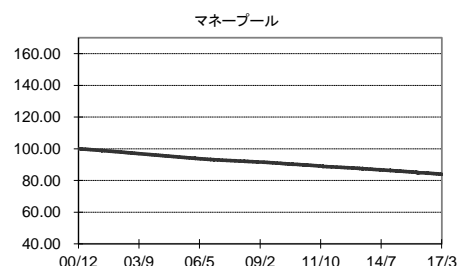
■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は▲1.16%となりました。

当期の日本短期債券市場は、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が導入されたことを背景に、マイナス圏で推移しました。期中は、米国など海外市場の金利上昇の影響を受けて短期国債利回りは一時上昇する場面もありましたが、その後は再び低下基調で推移しました。年度を通じてみると、日本短期債券市場の利回りは前年度末とほぼ同水準で期を終えました。利用する投資信託では、サムライ債などの運用がプラス要因となり、年度のリターンはベンチマークを上回る結果となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス	騰落率(%)
2017年3月末	83.88 過去1か月 ▲0.17
2016年12月末	84.22 過去3か月 ▲0.40
2016年9月末	84.48 過去6か月 ▲0.71
2016年6月末	84.70 過去1年 ▲1.16
2016年3月末	84.86 過去3年 ▲3.48
2015年12月末	85.25 設定来 ▲16.12

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	343
有価証券売却益	—
有価証券評価益	▲2
有価証券償還益 為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	213
有価証券償還損 為替差損	—
その他費用及び損失	43
収支差計	83

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	マネープール	
	金額(千円)	比率(%)
現金・その他	24,486	8.5
その他有価証券	264,283	91.5
合計	288,769	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2017年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.93年	97.64%
短期資産等	0.00年	2.36%
合計	0.91年	100.00%

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を

示す指標として用いられ金利の変化に対する

債券価格の変動率を示します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.07%	▲0.12%	▲0.13%	0.02%	0.07%	2.24%
BM	▲0.00%	▲0.01%	▲0.02%	▲0.05%	0.09%	1.68%
差	▲0.06%	▲0.11%	▲0.11%	0.07%	▲0.02%	0.56%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁵⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下(株)東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。
(株)東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(現地通貨ベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *4 ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- *5 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。
このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。
- *6 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
MSCIワールド・インデックス(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(配当込み・グロス・現地通貨建て)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *7 「ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合インデックス」は、ブルームバーグ・エル・ピーが公表するインデックスであり、世界の投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。
当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ・エル・ピーに帰属します。

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。
特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。
特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

<年支払開始日前>

●特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算する前にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
契約初期費用 (増額費用)	特別勘定繰入前	保険料の 2.0%	保険料から契約初期費用として2.0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。 (増額費用も同じ)
保険契約管理費 (積立金比例額)	毎日	特別勘定の積立金総額に対して 年率1.2%	当社の経費に充当されます。 (基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。)

* 毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1.2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

●ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
保険契約管理費 (件数比例額)	月単位の契約応当日	毎月 100円	契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。
積立金移転費用	移転時	<書面による移転申込みの場合> 1回目 1,500円 2回目以降は1回につき 2,300円^(*)	毎回の移転について積立金から控除します。
		<インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は 無料 2回目からは1回につき 800円^(*)	1か月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
貸付利息	月単位の契約応当日 および 貸付金の返済時	貸付金額の年利 1.2%	貸付金制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。

※ 13ページ【変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ②】へ続きます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ②

解約控除	解約時	積立金額の 8.0%～0.8%	解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を積立金額から控除します。
	減額時	減額に相当する積立金額の 8.0%～0.8%	減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。

(*1) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

※ 貸付制度は、ご契約が成立後、会社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

※ 将来、上記の内容が変更になることがあります。

●その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフ・ソリューション30 年率0.972%程度(税抜0.900%程度)	特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。
		ライフ・ソリューション50 年率1.080%程度(税抜1.000%程度)	
		ライフ・ソリューション70 年率1.188%程度(税抜1.100%程度)	
		日本株式 年率0.864%程度(税抜0.800%程度)	
		世界株式 年率0.540%程度(税抜0.500%程度) ^注	
		世界債券 年率0.460%程度 ^{*1}	
		マネープール 年率0.035100%～年率0.496800%程度 (税抜0.0325%～0.4600%程度) ^{*2}	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。

管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。

その他、お客様にご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかることがあります。運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

*2 マネープールの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

注: 2015年10月より新たに利用している投資信託の信託報酬率です。

2015年10月29日に償還された投資信託の信託報酬率は年率0.918%程度(税抜0.850%程度)です。

<年金支払開始日以後>

●年金支払開始日以後にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の 契約応当日	支払年金額の1.0%	年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>